

家庭基礎

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
家庭	家庭基礎	2	2年 G一貫	Survive! 高等学校 家庭基礎 (教育図書)	Survive! 高等学校 家庭基礎 準拠ノート (教育図書)

学習目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
学習の進め方	<p>講義形式の授業を中心に、年に2～3回の調理実習や聖書・讚美歌カバーの制作、VTR視聴なども行います。ニュースや新聞記事などから、さまざまな社会問題も取り上げます。</p>
評価対象・方法	<p>年3回の期末試験のほか、提出物や忘れ物の有無、実技に対する取り組みや作品の完成度も評価対象となります。</p>
受講に向けての心構えと準備	<p>直接受験科目になることはないと思いますが、家庭生活は常に地域や社会と密接に関連しています。日頃から、現代社会と家庭生活に興味を持ち、問題点を見つけ、それについて意見や考えを持つことを心掛けてください。</p>

	学習事項	学習内容	備考
一学期	1章 消費生活・環境 1 成年年齢の引き下げ 2 契約と消費者トラブル 3 消費者の権利と責任 4 消費者の意思決定 5 生活費と家計 6 将来の経済計画 7 これからの消費生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 成年（大人）と未成年の違いについて理解し、大人への準備期間をどう過ごすかを考える。 ● 一人で契約する時の注意点や心構えについて理解する。 ● 消費者トラブルと、消費者保護の仕組みについて理解する。 ● 消費者の権利と責任について理解する。 ● さまざまな決済方法について知り、それぞれのメリット・デメリットや自分に合った利用方法について考える。 ● 家計の特徴について理解する。 	
	6章 高齢期の生活 29 高齢者を理解する 30 高齢者の生活を支える仕組み 31 地域で支える高齢社会	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者を取り巻く社会の課題について理解する。 ● 高齢者の生活について知り、社会的な支援のあり方について考える。 ● 高齢者を支える基本的な制度や仕組みについて理解する。 ● 高齢者を支える地域の役割について考える。 	
	7章 共生社会 32 ともに生き、支え合う社会	<ul style="list-style-type: none"> ● 共生社会の重要性について理解する。 ● 共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考え、工夫する。 	
	期末試験		

一 学 期	8章 生活設計 33 青年期を生きる 34 現代の家族 35 家庭生活の成り立ち 36 家族と法律 3章 食生活 14 人と食生活 15 食品と栄養素 16 食品の選択・保存、安全な取り扱い 17 献立作成 18 調理の基礎 19 これからの食生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 人の一生を生涯発達の視点で捉え、生涯を見通し、青年期をどのように生きるか考える。 ● 家族と社会のかかわりや、現代の家族・家庭の特徴について理解する。 ● 家族関係の特徴を理解し、よりよいあり方について考える。 ● 家庭生活を支える基本的な法律について理解する ● 現代の家族問題と、解決のための社会的な仕組みについて理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 食事と健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。 ● 栄養素の種類や機能、おもな食品の特徴について理解する。 ● 食品の衛生と安全について理解する。 ● 各調理法の特徴を理解し、安全で衛生的、かつ、環境に配慮した効率的な調理技術を身につける。 ● 現代の食生活の問題や課題について理解する。 ● 持続可能な食生活、安全で健康な食生活について考える。 	
	期末試験		
三 学 期	5章 子どもの保育 25 子どもの発達 26 子どもの遊び 27 子どもの生活・大人の役割 28 子育て環境、子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの心身の発達の特徴について理解する。 ・ 親の役割や子どもを生み育てることの意義について理解する。 ・ 社会全体で子育てを支援し、子育ての環境整備を行うことの重要性を理解する。 ・ 子どもの権利や福祉について理解する。 	
	学年末試験		